スケッチ　『CEO』

2015年1月26日

Carrot Inc.

【概要】

15歳で会社設立・20歳で上場するなど、起業家(CEO)の低年齢化が進むなか、妊娠9ヶ月目で会社設立から上場までこぎつけた胎児のCEOが現れる。

胎児のCEOはお腹の中から社員に指示する方法をお腹の中で発明することで、妊婦さんの不安を解消する『マタニティーキューブ』というルービックキューブのようなグッズを大ヒットさせる。その後は金融・バイオにビジネスを拡大させ、1000人の社員を従える大企業となった。

そんな胎児のCEOに密着する。

【配役】

■CEOの母親

■副社長

■商談相手

■女性観光客A

■女性観光客B

■エンジニアの母親A

■エンジニアの母親B

■研究者

■記者たち

【脚本】

①応接室

　・出演者…CEOの母親、副社長、商談相手

　・シーン時間…85秒（累計1:25）

X社のビル外観。

X社のビル内観、オフィス風景。

ナレ1「数々の優良企業がひしめくオフィスビル群の一角に、今年、最も勢いのあるベンチャー企業が引っ越してきました。村下CEOが率いるX社です。村下CEOは妊娠9ヵ月目という史上最年少で上場することとなりました。上場までの1ヶ月間、非常にナイーブな時期を密着取材しました」

X社のオフィスにある応接室。

CEOの母親と副社長がソファーに座り、商談相手を待っている。

額縁前に飾ってある『マタニティーキューブ』のアップ。

ナレ2「出産予定日に合わせた今回のIPOは、株式市場への刺激材料となっています。今回の上場の狙いは、妊婦さんの不安を解消するパズル型の大ヒットグッズ『マタニティーキューブ』を海外展開することです」

CEOの母親の顔からお腹へパン。

ナレ3「妊娠後まもなく情緒不安定となった我が母親を間近で見てきた村下CEOは、この社会問題をビジネスで解決しようとしました。村下CEOはまず子宮の中から社員に指示する方法を子宮の中で発明しました」

副社長がノートPCで忙しそうにビジネスをしている。

ナレ4「そしてゴールドマンサックスとマッキンゼーの経歴を持つ副社長をヘッドハンティング。副社長に『マタニティーキューブ』のサプライチェーンを組み立てさせ、わずか妊娠3ヶ月間で100万個の販売を可能にしました。今では毎日のように業務提携の提案が舞い込んできます」

応接室に商談相手が入ってくる。

商談相手「どうも初めてまして。ミツヒジ商事の秋山です」

CEOの母親は座ったままで、副社長がドアをあけて商談相手と握手をする。

次に商談相手はCEOの母親に向かって「はじめまして」と挨拶をしてソファーに着席しようとする。

母親「秋山さん、CEOはこっちです。さすってあげて」

商談相手は戸惑いながらお腹をさする。

その間、母親と副社長が目を閉じながら短い子守唄を歌い、商談相手は困惑する。

副社長「はい。座って。じゃあ早速ですが提携のプランを聞かせてください」

商談相手「わかりました」

副社長も商談相手もソファーに座って商談を始める。

商談相手が副社長に企画書を渡し、副社長はお腹の中のCEOと一緒に覗くようにして資料に目を通す。

商談相手「今回の提案は御社の『マタニティーキューブ』がもっとリラックス効果を生み出せるように、スイセンの香りを付けるというものになります。お花の香りでリラックス効果が2倍・3倍高まれば、今よりも2倍・3倍ナーバスな母親でも安心して子供を産めるようになります。当社の香り高いお花畑をその目で確かめてみてください」

 少しの沈黙のあと、子宮の中のCEOが小刻みに揺れる。

CEOテロップ「これは親和性のある良い提案だ。私が産まれる前に実装してみたい」

副社長「では、急いで視察に行きましょう」

②お花畑

　・出演者…CEOの母親、副社長、商談相手、女性観光客2名

　・シーン時間…50秒（累計2:15）

CEOの母親と副社長と商談相手がラベンダー畑に視察しにきた。

一面のお花畑をCEOの母親がとてもウキウキした様子でスキップする。

ナレ5「X社の成功の秘訣は村下CEOのフットワークの軽さにあります。常に現場第一という姿勢だからこそクオリティの高い商品を生産できているのでしょう」

CEOの母親と副社長と商談相手がお花畑に囲まれたスペースで立ち止まって会話をする。近くには2人の観光客がじゃがんでお花畑を楽しんでいる。

商談相手「これが一押しの朝摘みスイセンです。手にとってみてください。」

CEOの母親がスイセンを手に取り、匂いを嗅いでとても幸せそうな笑顔になる。副社長は隣でその様子をノートPC(または手帳)に打ち込んでメモする。

CEOの母親「こんなに香り高いなんて夢みたい」（スローモーション）

子宮の中のCEOが小刻みに揺れる。

CEOテロップ「ナルミのこんな笑顔を見たのは妊娠後初めてだ。この笑顔は売上高に換算すると22億円だ。これでシェア1位になれる。副社長すぐに生産ラインに組み込むんだ」

副社長がノートPCとスマホを駆使して、CEOにお伺いを立てながら慌ただしく各部署との調整作業を行う。CEOの母親と商談相手は楽しそうに談笑する。

ナレ6「また、村下CEOの徹底したユーザー目線、ストイックな母親目線が成功の秘訣となっています」

子宮の中のCEOが小刻みに揺れる。

CEOテロップ「ねえ、君たち」

しゃがんでいた女性観光客の女性2人が立ち上がる。

CEOテロップ「うちだったら今の2倍の給料で雇ってあげるよ。来月から僕のオムツを変えて、一緒に世界を変えよう」

女性観光客は頬を赤らめて恥ずかしげに互いに顔を合わせる。

ナレ7「さらに、ベンチャー起業家としては欠かせない色気も備えているのが村下CEOの成功のカギです」

③イメージ

　・出演者…なし（映像で編集)

　・シーン時間…50秒（累計3:05）

村氏CEOの略歴をイメージ映像やグラフで解説。

ナレ8「村下CEOはナルミとタカシの間にできた胎児です。受精後すぐに数学に興味をもった彼は、子宮に向かうまでの間にフェルマーの最終定理を解読しました。子宮にたどり着くと同時にハーバード大学経済学部に入学。ここでピケティを専攻し、低賃金の労働者階級保護に関心が向かいます。そして人間の形になる妊娠8週間目にX社を起業し、労働者と妊婦さんと同世代のために、比喩的な意味で立ち上がりました。翌月には『マタニティーキューブ』が大ヒット。今では金融・バイオにまでビジネスを拡大させ、1000人の社員を抱えます。この間に２回ほど逆子になりましたが、指示ができない逆子の時期もM&Aで乗り切りました。広報によると、今は自ら作った次世代型の分娩台でイノベーティブな出産を行うのが何よりも楽しみなのだそうです」

④研究室

　・出演者…CEOの母親、副社長、エンジニアの母親×2、研究者

　・シーン時間…60秒（累計4:05）

村下CEOとエンジニア2人の学生時代や企業当時の写真が人間の形でセピア色でスライドされる。二人の名前は堀江と宮坂とテロップで書いてある。(※イメージ映像と書いてある)

ナレ9「村下CEOはハーバード大学で知り合った胎児のエンジニア2人と起業しました」

村下CEOが副社長とともに研究室に早足で向かう。（お腹アップ）

ナレ9「上場を2週間後に控えたこの日。エンジニアが集う研究室が騒がしくなりました。『マタニティーキューブ』にプログラムされた全てのパズルを解いたためにリラックス効果が薄れたという報告が一部の熱狂的なユーザーから入ったのです。安産祈願を行っていた村下CEOも研究室に駆けつけました」

村下CEOが副社長とともに研究室に入ってくる。

研究室は近未来的な雰囲気であり、奥の中央にある培養液に『マタニティーキューブ』が浮かんでいる。

村下CEOの母親がエンジニアの母親2人と囲うようにして座る。母親達3人は楽しそうに挨拶をかわして女性誌を読み始める。

胎児3人が緊急会議を開始する。

エンジニアAテロップ「CEO、早く新しいパズルをプログラミングしないと！」

エンジニアBテロップ「妊婦さんが体調不良になったらまずいけど、他のパズルパターンを解読できないよ」

CEOテロップ「みんな何を言ってるんだ！こんなのは妊娠3週間目の仕事だろっ！理論的にはあと12個のパズルをプログラミングできるはずだ。堀江君は白衣の彼にアルゴリズム902を指示して、宮坂君はアルゴリズム330を指示するんだ」

エンジニアA・B「おう。その手があったか！」

その内容に従って研究者が培養液前のキーボードでプログラミングを打ち込み、培養液の『マタニティーキューブ』に反映していく。副社長は研究者に付き添うように隣に直立する。

エンジニアA・Bテロップ「おう。次々に新しいパズルがプログラミングされていく。さすが俺たちのCEOだ」

CEOテロップ「だから言っただろ。今回の脆弱性が報告されたときに直感的にこのアルゴリズムだと思ったんだ。よし、白衣の君はアップデートの手配を頼む」

研究者「はい」

CEOテロップ「それと副社長はホームページへのIR更新を任せた」

副社長「承知しました」

エンジニアA・BがそれぞれCEOの人柄に関するインタビューを受ける。

エンジニアA「俺より2日も前に受精したのに、彼にはそれを感じさせないリーダーシップがあるよね」

エンジニアB「彼は非常にクールなやつに見えるけど、本当はとても生臭い胎児なんだ」

ナレ10「私たちはX社の組織力を目の当たりにしました」

⑤上場記者会見場

　・5人：CEOの母親、副社長、エンジニアの母親×2、研究者、記者たち

　・シーン時間…60秒（累計5:05）

ナレ11「迎えた上場当日。都内のホテルで行われた記者会見には100名を超える報道陣と20名を超える出産立会人が集まりました。記者会見の中で村下CEOは投資家に向けて1年以内の経常利益100億円とオムツ卒業を約束しました。現地の記者によるとその口調はラマーズ法気味だったとのことです。2時間におよぶ記者会見の終盤に差し掛かるとさらに語気を強めてユーザーに向けた想いを語りました」

CEOテロップ「「私は少しでも同世代の暮らしが豊かになるようにという想いで創業しました。20世紀は子が親を選ぶことができませんでした。しかしついに子が親を選ぶ時代がきたのです！」

記者達が歓喜をあげる。

CEOの母親が陣痛になる。

CEOの母親が副社長と研究者に支えられて退席する。

ナレ12「演説の終わりを見計らったかのように陣痛が起こり、村下CEOと母親が退席します」

エンジニア2人の母親も次々と陣痛になって退席する。

ナレ「さらに数分後にはエンジニア2人の母親も陣痛で退席」

3人の赤ちゃんが隣室で生まれ、泣き声が記者会見会場に響く。

ナレ13「当初の予定どおり無事に村下CEO達が生まれると記者会見場は歓喜に包まれました」

記者会見会場の記者達が歓喜をあげる。

⑥イメージ

　・出演者…なし（オフィス外観・内観）

　・シーン時間…20秒（累計5:25）

ナレ14「上場してからの数週間、X社の株は順調に上がっています。『マタニティーキューブ』は瞬く間に先進国中で話題の対象となっています。しかし生まれてきた村下CEOとエンジニア達はみんな普通の赤ちゃんでした。広報によると、昨夜も愛情たっぷりの母乳を飲んでスヤスヤと眠りについたとのことです。国際経済にとってX社の今後の動向は見逃せません」